

学校番号	16	学校名	静岡県立中央特別支援学校	校長名	伊賀 匡
------	----	-----	--------------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標 「皆と共に 心豊かに たくましく 生きる力を育てる」

「皆と共に」	⇒自他を認め、尊重し合い、積極的に社会参加を目指す児童生徒	} 目指す児童生徒の姿
「心豊かに」	⇒感動する心を持ち、自分らしく持てる力を精一杯発揮する児童生徒	
「たくましく」	⇒命を大切にたくましく生き、主体的に学ぶ児童生徒	
「生きる力を育てる」⇒児童生徒の <u>可能性を最大限に伸長</u> していく。		

(2) 目標具現化の柱

◎目指す学校像

- ・児童生徒の「命と人権」を守る学校
- ・児童生徒の「力を最大限に発揮し、可能性を広げ、伸ばす」学校
- ・人との「つながり」、地域や社会との「つながり」を大切に、共に伸びる学校

◎スローガン

「伝え合う」「つながり合う」「分かち合う」

【安全・安心な学校づくり】

ア 教職員一人一人が人を尊重する倫理観を持ち、「キラリ&ホット」の視点を大切にして児童生徒の「命と人権」を守る。

イ 緊急時や災害等の危機管理を徹底し、児童生徒の「命を守る」体制を強化する。

ウ 感染症対策を踏まえた上で、安全を確保しながら機能的で生活しやすい環境づくりを行う。

【生きる力を育む授業実践】

エ 卒業後の「豊かな生活」に向けて、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現できるような授業実践に取り組む。

オ 児童生徒の実態に合った授業を行うために、教員一人一人の専門性の向上と「機能するチーム・ティーチング」の実現を図る。

【地域や社会に開かれた学校づくり】

カ 児童生徒の可能性を広げるため、地域との「つながり」の価値を共有し、地域のヒト、モノ、コトを教育資源として積極的に取り入れる。

キ 社会との「つながり合い」を大切にしながら、生涯学習につながる教育活動の充実を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【安全・安心な学校づくり】

		取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
安全部	ア	児童生徒の人権を守る取組の推進(キラリ&ホットの浸透)	・教職員に求められる倫理観や人権感覚について、学年やグループで定期的に振り返る機会を設定する。 ・児童生徒会活動や大輪祭などを通し、児童生徒がそれぞれ	・人権チェックシートの項目を意識し、人権を尊重した言動を行うことができた教員100%	生徒指導課

様式第1号

		れの持ち味を生かし活躍できる活動を計画する。		
イ	災害時、非常時における防災、防犯体制の整備と定着	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関の講師から専門的な知識や意見を得て、防災、防犯体制の整備に活かす。 災害時や非常時を想定した図上訓練や実地訓練を行い、現状の防災、防犯体制の改善点を見出すとともに、職員個人が災害時、非常時の最善の行動について考える機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練や研修に関連した防災マニュアル各項を参考に、学部、学年の防災、防犯の体制について考え、整備を進めたと答える職員 90%以上 	防災課
	命を守る緊急時・災害時の対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の対応力の向上や維持ができるように、定期的な緊急時対応訓練を設定する。また、緊急時の対応方法の共有、啓発に繋げるため実践内容を周知する。 学校における緊急時・災害時の対応方法を保護者と共有するために、緊急時対応表の作成見直しの場を設けたり医療的ケア災害時対応訓練を実施したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「緊急時や災害時に自分がどう動いたらいいのか」を研修や訓練ごとに見直すことができた職員 100% 	医療的ケア課
	安全・安心な給食の提供と摂食指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> 基本研修や摂食講習会、学年・グループでの研修を行い、摂食指導の目標や有効な介助方法を確認したり共有したりする場を設定する。 摂食指導資料、食に関する指導の全体計画を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 摂食に関わる将来の願う姿を考え、発達段階や目標を意識して摂食指導ができたとする職員 90%以上 	給食課
	感染症対策を踏まえた上で活動できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策チェックリストを活用して定期的に確認する場を設ける。 (日生を含む) 保健指導の実施の呼びかけと情報共有をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を踏まえて指導することができた職員 90%以上 	保健課
	児童生徒の視点に立った生活しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生活しやすい教室環境や見やすい掲示例について情報提供する。 学習グループを越えて新たな視点で安全点検ができる機会を設け、連絡調整や依頼をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が生活しやすい環境について、意見交換をして改善することができた職員 90%以上 	総務課

【生きる力を育む授業実践】

		取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
指導部	エ	「将来の豊かな生活」を見据えた個別の指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画、個別の指導計画と作成のためのハンドブックを改訂、作成する。 ・目標評価確認日を使って、将来豊かな生活を送るために、必要な力を検討できるよう、参考資料等を提示し、作成の視点や教科の捉え方を確認する場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態と将来の生活像からの読み取りや、各教科等の目標を踏まえた個別の指導計画の目標を設定することができた職員 100% 	教務課
		「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にした授業づくり、生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・現在と将来の豊かな生活を見据え、単元や目標、学ぶ姿を想定し、設定理由を説明できるように、指導案や将来見据えシートの効果的な使い方を提示する。 ・授業研究の実施を通して、軌道修正しながら指導と評価を一体化させる授業づくり、生活指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組目標にある3つの姿を明確にして授業づくりをした職員 90%以上 	研修課
		進路指導の視点を生かした日々の指導や支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の目標設定時に、進路指導の視点を意識して目標設定や見直しができるように、情報発信および啓発を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の視点を個別の指導計画の作成や見直しに生かすことができた職員 90%以上 	進路指導課
		スポーツを身近に感じ、生涯スポーツにつながる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・世間が注目するスポーツ大会の情報について発信する。 ・「する・みる・支える・知る」の捉え方や授業実践について情報発信及び啓発を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が体を動かす習慣を身に付けたり、生涯にわたってスポーツに親しんだりする姿を目指して「する・みる・支える・知る」の視点で指導やイメージができた職員 80%以上 	体育課
		児童生徒が力を最大限に発揮できるための授業におけるICT活用の試みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践の共有やアプリの使い方の情報提供を通して、「使ってみよう」と思える環境づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導において ICT 機器の活用を検討又は実施できた職員 80%以上 	情報教育課
	オ	実態を的確にとらえた目標設定と、生活年齢や発達段階に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学年や学習グループ等の単位での自立活動の指導に関する学習会（OT巡回指導等を含む）の実施とその内容を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前後期末に、自立活動の指導力の向上を実感できている教員 80%以上 	自立活動課
		専門性の向上と効果的なT-Tの実現を目指した教員集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究日を活用し、グループや学年を主体とした研修の充実とT-Tの価値観の共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究日を活用しグループを主体とした研修やT-Tの価値観共有を図り、効果的なT-Tによる指導が実感できた教員 90%以上 	チーム学校

【地域や社会に開かれた学校づくり】

		取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
連携部	カ	地域や社会とつながり合う授業実践の積極的な取組と発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のモノ・コトを生かし、地域のヒトと連携・協働した実践（間接的な交流を含む）の充実のために、地域に関する情報提供と、各実践の価値付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域（麻機地区を含む静岡市、児童生徒の居住地区）間で、地域を生かした関わり（間接的な交流を含む）を実践できた職員90%以上 	地域支援連携課
	キ	地域の人的・物的資源を活用した読書活動や表現活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしの会」や読み聞かせ、電子図書をはじめとする図書を活用できるように、図書の充実及び、職員や児童生徒のニーズに応じたレファレンスサービスに関する情報を発信する。 ・作品展の出展や外部団体を招いての様々な芸術に触れることができるようにする。また、その内容を掲示物にして職員に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の読み聞かせや電子図書等の読書活動、鑑賞教室や各種作品展をとおして学校外の世界と関わる事ができたといえる職員90%以上 	図書表現課